



ほけんだより 9月



仙台市立中野栄しょうがっこう
仙台市立中野栄小学校

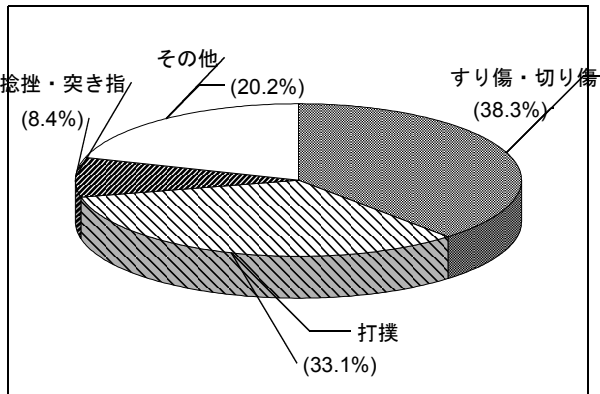
平成26年9月3日

8月には大雨や竜巻など、自然災害による被害が各地でありました。災害や事故はいつ自分の身にふりかかってくるかわかりません。9月1日は、「防災の日」、そして9月9日は、「救急の日」です。このような機会に「もしも」の場合にそなえて、応急処置法や、連絡方法、避難時の約束などについて、みんなで確認しておきましょう。

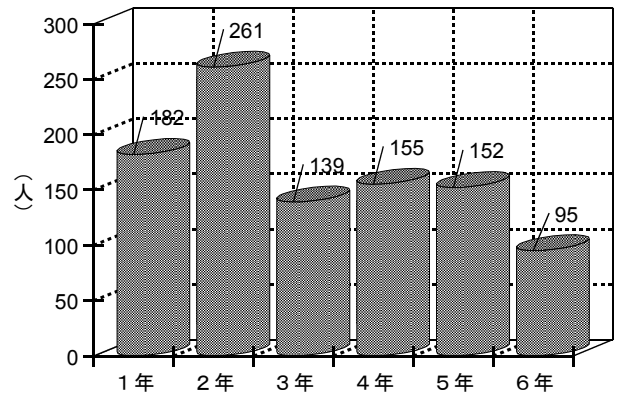
9月の保健目標

けがをしないよう気をつけよう。

4月から8月までのけがのようす



4月から8月までの学年別保健室利用者数



上のグラフは、4月から8月までに保健室にきた人のけがの様子です。校庭で転んでひざやひじなどをすりむいたり、ろうかや教室で、他の人や壁にぶつかったり、机にゆびをはさんだりする人が多かったです。学年別では、2年生の保健室利用が多かったです。

けがをしないように、回りのようすをみながら、いつも落ち着いて行動しましょう。

こんなとき、まずは水道へ「ゴー！」

すりむいた



傷口の汚れ(土や砂など)を洗い流す

やけどをした



水を流しながら、よく冷やす(水道の水は直接あてないようにする)

目にゴミが入った



水をためた洗面器に顔を付けて、まばたきをする

早めの手当てが、痛みや症状をやわらげます。自分でできる手当てを身につけておこう。

— けがの予防のために —

まわりのようすをよく見る

あぶない場所はないか、危険なものがないか、まわりのものや人のようすをよく見て行動する。

きまりを守る

「立ち入り禁止」「○○してはいけません」などは、みなさんを危険から守るための大切なきまりです。

動きやすい服装をこころがける

引っかかったり、ころんだりしやすいので、ひもやかざりの多い服やサイズの合わないくつはやめる。つめは切る。

けがをしてしまったら、「なぜけがをしたのか」を考えてみましょう。

保護者の皆様へ 色覚について

先天性色覚異常は、男子の約5%（20人に1人）、女子の約0.2%（500人に1人）の頻度で出現するので、決して希な異常ではありません。

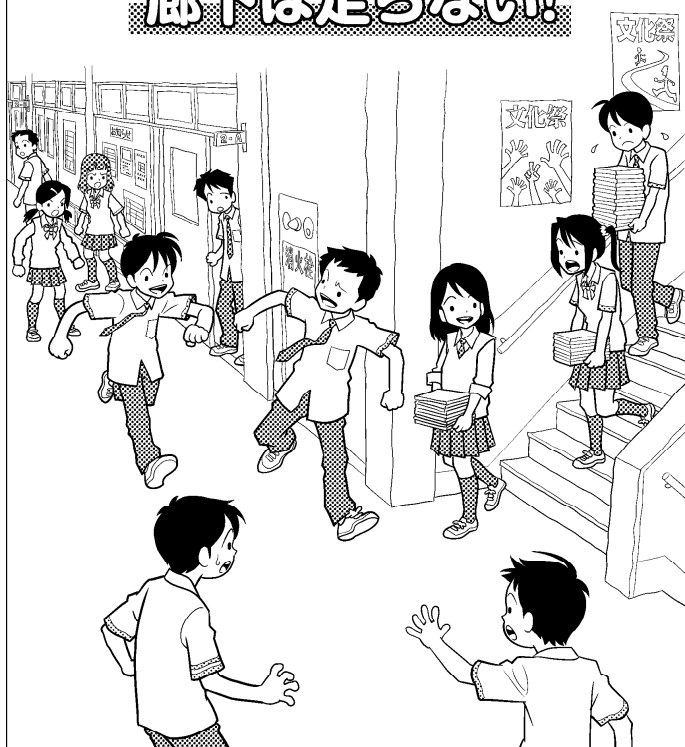
多くの場合は、色の微妙な違いが分かりにくい程度で、日常や学校生活には支障のないことが多く、半数が異常に気づいていなかったという報告もあります。現在、法律上は色覚異常による就労の制限はありませんが、一部に色覚が正常であることが求められる職業や資格があります。

日常生活において、色の見えかたに不安がある場合は、学校で健康相談を受けることができます。あるいは直接眼科への受診をお勧めします。

7つのちがいをさがそう！

右と左の絵のちがいをさがそう。答えは保健室前にはっておきます。

出会い頭の事故・けがに注意
廊下は走らない！



出会い頭の事故・けがに注意
廊下は走らない！

